

## 平成 27 年度研修会「現場でのよりよい対応について話し合おう」資料

平成 28 年 1 月 28 日

公益財団法人横浜市建築保全公社

### ケース1:

小学校で工事中、学校から「足場の上から落ちてきた極小さいコンクリート片が児童の頭に当たったようだ。幸い外傷はなく、本人も元気だが、注意をしてほしい。」と現場代理人に連絡があった。

### 対応の視点

迅速かつ正確な事態の把握

- 人的被害の状況把握
- 発生場所の特定
- 発生原因の把握
- 被害拡大の可能性把握

迅速かつ適切な対処

- 被害者（保護者）、学校、発注者への迅速な状況説明と対応説明
- 事態の拡大、長期化を防ぐ対処の即時実行

### 対応の注意点

- 学校を通して被害児童の保護者と早急に面談し、謝罪する。
- 対応は学校、発注者と相談しながら行う。
- 事態の把握はひとりで行おうとせず、現場一丸で行う。
- あらゆる可能性を想定して現場全体を調査、対処をする。
- 被害者への誠意の証はスピードと面談

### 日頃の備え

- 工事に伴うリスクの洗い出し
- 現場の日常点検
- 危険回避のための作業計画

## ケース2:

近隣の住民から「工事現場からの異臭が原因で気分が悪くなった。」と問い合わせがあった。

### 対応の視点

迅速かつ正確な事態の把握

- 人的被害の状況
- 発生場所の特定
- 発生原因の把握
- 被害拡大の可能性把握

迅速かつ適切な対処

- 被害者、施設、発注者への迅速な状況説明と対応説明
- 事態の拡大、長期化を防ぐ対処の即時実行

### 対応の注意点

- 問い合わせをしてこられた方のお話は誠意をもって聴く。
- 事態の把握はひとりで行おうとせず、現場一丸で行う。
- あらゆる可能性を想定して調査、対処する。
- 事態の収拾を最優先に行動する。
- 臨機の対処が適切であったか継続して状況を確認する。
- 被害者への誠意の証はスピードと面談

### 日頃の備え

- 工事に伴うリスクの洗い出し
- 近隣への事前説明
- 施設、発注者とのコミュニケーション

ケース1:

近隣の住民から「工事現場からの異臭が原因で気分が悪くなった。」と問い合わせがあった。

対応のポイント

問い合わせをされてきた方の側に立って、対応しましょう。

事態を安易に考えず、最悪の事態を想定して工事の中断も辞さずに対処しましょう。

速やかな行動が重要です。対応に時間を要するのであれば先方に進捗状況を伝えるなどしましょう。

ひとりで解決しようとせず、会社、公社、施設管理者に状況を速やかに伝えて、適切な対応を協議しましょう。

ケース2:

小学校で工事中、学校から「足場の上から落ちてきたコンクリート片が児童の頭に当たったようだ。幸い外傷はなく、本人も元気だが、注意をしてほしい。」と現場代理人に連絡があった。

対応のポイント

被害にあわれた児童の様子を最優先で確認し、学校と相談して医療機関の受診をお願いします。

現場作業を中断して、場内の安全点検を実施し、コンクリート片が落下した原因を調査しましょう。

原因の解明と防止対策が完了するまでは作業を再開してはいけません。

ひとりで解決しようとせず、会社、公社に状況を速やかに伝えて、適切な対応を協議しましょう。

学校、被害者、保護者に対して速やかにお詫びをします。

学校内での事故に対する対応は必ず学校との連携が必要です。